

## 報告書案に関する意見募集等の結果について（案）

平成18年3月28日

防災環境対策室

### <意見募集>

#### 1. 実施方法

(1) 意見募集期間：平成18年2月17日（金）～3月19日（日）〔31日間〕

(2) 告知方法：プレス発表、文部科学省及び政府広報オンラインホームページに掲載

(3) 意見提出方法：電子メール、FAX、郵送

#### 2. 有効な御意見数

無し

### <原子力安全委員会への付議>

(1) 会議名：原子力施設等防災専門部会

(2) 御意見

別紙：原子力安全委員会原子力施設等防災専門部会における御意見

## 原子力安全委員会 原子力防災専門部会において頂いた御意見

1. 部会開催日：平成18年3月14日（火）

2. 主な御意見の概要

（松尾委員）情報共有システムは使い勝手が良い。

OFCだけでなく、モニタリングセンターでも情報共有システムが見られるようにネットワークをつなげて欲しい。

（草間委員）「統合」原子力防災ネットワークができるとすると、役所の縦割りを無くし、省庁間の連携を取って欲しい。

（神田部会長）資機材の更新をやるということであるが、いつから何をやるのか。

原子力事業者も資機材を変えるけれども、国が管理するオフサイトセンターの資機材も同じように変えるという理解で良いか。

（早田安全委員）添付資料10において、緊急時交付金が18年度にほぼ半減している理由は何か。

（藤城委員）地方自治体との連携強化とは、具体的に何をやるのか。

（神田部会長）防災訓練が、地元でいつ行われるかについては、国民の関心が高いということをご理解いただきたい。

要素訓練とは何か？定義を入れたほうが良い。

アジアとの協力は何をやろうとしているのか。

（本間委員）原災法上の原子力事業者の責務について、どこまでの範囲が責務なのかが、少し不明確である。

（野村委員）3次被ばく医療機関である放医研や広島大は、新しい統合原子力防災ネットワークにきちんと入れてほしい。

防災資機材の更新については、交付金など、財政的な支援が絶えないようにしてほしい。

（藤元委員）機器が古くなったから更新というのも大事だが、メンテナンスも大事なので、費用の確保をお願いしたい。

また、2次被ばく医療機関に指名されている病院から、色々な機器を持たされているのに、その維持費用を自分で持たなければならないのは困るという意見をよく聞くので、国から支援をしてほしい。

（前川委員）2次被ばく医療機関などに指定されたのに、その資機材の維持管理については交付金があるので要求しろという話はおかしいと思うので、きちんと国から支援をしてほしい。

（草間委員）研修等を通して、人材の効率的な育成と、その継続を心がけて欲しい。